

機精金石

# 航空機部品工場を完成

稼働へ  
24時間無人  
テスト加工実施

【富山】石金精機（富山市、

清水克洋社長、076・423

・8317）は、本社隣接地に

航空機部品専用工場を完成し、

2月から24時間無人稼働のテス

ト加工を実施する。国産小型旅

客機「MRJ」の主翼部品など

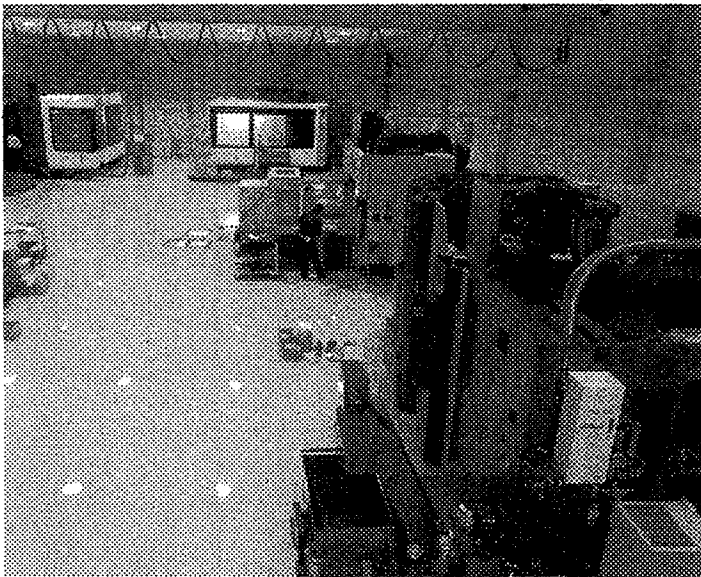
を生産する予定。航空機部品を

新たな事業の柱に育て、現在年

間3000万円程度の航空機部

品関連の売り上げを2018年

には1億円に引き上げる。



完成した航空機部品専用工場

航空機部品専用工場は

鉄骨2階建て、延べ床面

積1036平方メートル。総投

資額は4億円。既存工場

にある航空機部品用の加

工機械6台を同専用工場

に移すほか、新たに松浦

機械製作所製の5軸制御

立型マシンングセンター

（MC）「MAM72-

35V」を追加導入す

る。

MRJの試作機に続

き、量産機にも部品を供給する。また、現在米ボーイングの777型機や787型機の部品を生産しているが、787シリーズの最新鋭機787-9型機への納入も決定し、同専用工場で本格生産する予定。

機械部品の設計製作を行う同社は、工作機械などに使う精密部品の加工で培った技術、ノウハウを強みとし、11年3月に航空機部品加工に乗り出した。

13年には航空・宇宙産業向けの品質管理規格「JISQ9100」認証を取得し、航空機部品の増産を本格化している。